

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	5983	担当課等	社会教育課								
事務事業名	文化祭開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P128 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	II 文化芸術の振興・保存	8 文化芸術	(2) 町民文化芸術活動の支援	① 教養文化の土壌醸成				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	芸術・文化の各分野で活動している各種文化団体などが日頃の成果を発表する場を設けることにより、文化活動への参加意欲と団体間の交流を深め、町の文化の振興・発展を図る。								
対象	各種団体等								
内容	毎年10月～11月の2か月間に、音楽会や文化祭など各団体の活動の発表の場を提供することで、活動の活性を図るとともに、団体間の交流を深めることで振興を図る。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	370,310	0		
コスト 人件費	常勤職員	451,592	44,224	57,946	
	会計年度任用職員等	39,320	3,932	3,932	
	人件費合計	483,162	48,156	61,878	
	総事業費	1,162,573	48,156	67,878	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源	154,000			
	一般財源	1,008,573	48,156	61,878	
	財源合計	1,162,573	48,156	61,878	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
文化祭実行委員会議	交流機会の回数	回	4	2	2
音楽会実行委員会議	交流機会の回数	回	1	1	2
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
文化祭参加団体数	文化の振興・発展した団体数	団体	13	13	13
音楽会参加団体数		団体	6	-	6

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 実行委員会の組織づくりや事業の準備運営、PRに向けた支援は必要である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 通常であれば、多くの参加団体の活発な発表等による文化の発展、振興が図られているが、コロナ禍を受けて十分な活動ができない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 町民が文化や芸術に触れる機会や意識高揚に効果を上げている。ただし、各団体ともに高齢化が進む中で、若い世代の参加を増やすことが課題。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 広く全町に周知PRし、活動への呼びかけを行うことで振興を図れている。

令和2年度までの自己評価または改善点	事業実施に向けて各団体が、自主性・主体性を意識した活動ができるよう努めている。また、若い世代にも関心を抱いていただけるよう各団体の周知を図るとともに、活動の場を提供できるよう支援を図りたい。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 町内で活動する各種文化団体、サークル等の発表の機会を設けることを目的としていることから委託に適さない。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	新型コロナウイルス感染症の予防の観点から中止 各団体ともに日頃の活動ができない状況であり、成果として示せるものがない。まずは、自主活動の再開に向けて、どのような形であれば実施できるかを検討している。
令和4年度以降の方向性	各団体の自主活動が滞っている中、活動休止している団体も見受けられる。また、高齢化が進むだけでなく、コロナ禍により脱会する人も増加している。本町の文化振興を継続させるためにも、より多くの町民に活動への参加を促すために、団体の周知PRや発表の場の提供するなどの支援を行う必要がある。発表についても、複数の団体が、より関わりを持てるよう共同開催等の方策を検討する。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	事業の開催方法の見直し
------	----------	-------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	6046	担当課等	社会教育課							
事務事業名	町民大学運営事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	昭和 32 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P121 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	4 生涯学習	(1) 生涯学習推進体制の整備	① 町民大学の拡充				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
								○	
目的	60年以上の歴史を持ち湯河原の住民の生涯学習の場として大きな魅力を持つ教養講座として学習意欲に応える。								
対象	町民、町内在勤者								
内容	各分野の専門家を講師に招き、講義形式で毎月1回(第3土曜日)の講座を開催。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	1,229,350	366,000	500,000	
コスト 人件費	常勤職員	680,482			
	会計年度任用職員等	1,205,000	480,000		
	人件費合計	1,885,482	0	480,000	
	総事業費	3,114,832	366,000	980,000	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源	860,000			
	一般財源	2,254,832	366,000	500,000	
財源合計	3,114,832	366,000	500,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
年間開催講義数	講座を受講できる機会	回	12	0	12
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
継続的に出席している受講生の割合	年間6回以上出席者数/受講申込者数	%	73.4	-	90.0

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町民の学習意欲に応える場として、また60年以上続く講座として、町が今後も実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 他事業で幅広い年齢の対象者が継続的に学習できる事業はなく、また出席率も高い水準を維持できている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 継続して事業を行い、出席率も高い水準を維持しており、町民の学習意欲に応えることができている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 定員はあるが、広報紙やHP、町内各所で広く広報し、受講生を募集している。
令和2年度までの自己評価または改善点	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、予定していた開講(全12回講演)を見送った。コロナ対策を踏まえて、会場や定員の見直しを図る必要がある。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	町民大学運営委員会による運営は、開講以来60年の歴史があり、平成28年度からは同委員会へ委託済み
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	新型コロナウイルス感染症の予防の観点から休講中。対面型の講演以外にも、オンラインを用いた講演を提案している。また、過去の受講生に対して、講演を予定している講師に依頼して、テーマに沿った冊子等を作成し配架するなど検討している。	
令和4年度以降の方向性	運営委員会の選考による講義のほか、今後は幅広い年代の受講者に魅力のある内容の講義を模索する。また会場を防災コミュニティセンターに変更し、定員を縮小し開催する。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	事業の開催方法等の見直し
------	----------	--------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	12453	担当課等	社会教育課								
事務事業名	家庭教育推進事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P112 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	1 家庭教育	(1) 家庭の教育力の向上	① 学習機会の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	社会の変化とともに、家族や子供を取り巻く環境が様々に変容する中で、家庭教育のあり方やこれからの時代を生きる子供達の子育てについて理解を深め、各家庭の教育力を高める。								
対象	保育園児、幼稚園児、小学生及び中学生の保護者及び関心のある方								
内容	家庭教育及び人権教育に係る講義等を年数回開催するもの。町主催事業参加者の子どもの預りの委託及び会員の資質向上を目的とした保育グループ「エプロンママ」の活動支援。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	173,888	0	157,000	
コスト 人件費	常勤職員	83,813	0		
	会計年度任用職員等	35,388	0		
	人件費合計	119,201	0		
	総事業費	293,089	0		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	293,089	0		
	財源合計	293,089	0		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
家庭教育学級実施回数	参加機会の提供	回	4	0	3
託児受付回数	託児による学習機会の提供	回	9	0	3
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
参加人数	子育ての理解を高める	人	173	0	200
託児利用人数	受講者による利用	人	47	0	

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 生涯学習の一環として家庭教育について学ぶ機会を提供するため、町が実施すべきである。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 就学後の児童の子育てに対する様々な内容の講義は他の事業にはなく、参加者が子育てに対し理解を深め、考えるきっかけとなっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 専門知識をもつ講師の選定により幅広い知識の習得ができる。また、子育てに対する多角的な考えが身についている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 各学校や保育園、幼稚園また広報などを通じて幅広く参加の募集を行っている。

令和2年度までの自己評価または改善点	できるだけ受講対象者が受講しやすい時期、時間帯となるよう開催時期を調整した。保育グループ会員の高齢化が進んでいるが、会員内で声をかけあい、新会員の加入に努めている。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	内容は主に年4回の講演会開催であり、各学校、幼稚園、保育園の保護者等の協力で実施しているため、委託は不要と考えられる。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	コロナウイルス感染症対策として、対面型とオンラインを用いた講演を併用することで、計3回開催した。	
令和4年度以降の方向性	対面型とオンラインを用いた講演を併用するなど受講者が選択できるような方法を検討する。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	開催方法の検討
------	----------	---------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	12520	担当課等	社会教育課								
事務事業名	学習活動推進事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P122 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	4 生涯学習	(2) 生涯学習内容の充実	① 多様なライフスタイルに対応した学習プログラムの作成				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	地域会館の活用など地域に根ざした生涯学習を図るとともに、郷土の豊かな自然や文化財に興味や関心を深める機会をつくり、湯河原の特色を生かしたまちづくりにつなげる。								
対象	町民								
内容	各種観察会(ツバメや野鳥、海のプランクトン、野山の植物)、天体観察、地域の歴史と文化施設などの訪ね歩きの実施。また、地域における生涯学習推進委員のスキルを高めるための研修講座や情報交換会等を開催する。また、陶芸教室では、親子がふれあいを深めながら、自然の材料から作品ができる過程を学ぶ。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	69,034	648,300	379,000	
コスト 人件費	常勤職員	30,931	59,227		
	会計年度任用職員等		3,932		
	人件費合計	30,931	63,159		
	総事業費	99,965	711,459		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	99,965	711,459		
財源合計	99,965	711,459			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
開催回数	参加機会の確保	回	5	0	5
事業開催数	地域の自主的な実施	回	9	0	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
参加者数	学習機会の提供	人	107	0	100
事業参加者数	地域の自主的な実施	人	164	0	

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 多様な生涯学習に対応し、幅広い世代に興味を持ってもらうために、町が実施する事業と地域が主体となって行う事業がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 自然や文化財に触れる事業は他に類似がないことから、郷土に関心を持つきっかけとなっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 郷土への知識を深めるきっかけとなり、自然に関心を深める機会となる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 地方紙や町広報誌のほか、町内学校での事業広報により参加募集を行っている。

令和2年度までの自己評価または改善点	各種講座は親子のふれあいと学習を兼ねた機会として定着し、ほぼ定員で実施している。平成28年度に事業の収支透明化のため、参加費の歳入や材料費の支出などを予算化した。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	個別の事業ごとにジャンルや方向性が異なり、同一事業として委託は困難である。委託が可能な事業もあるが、参加費とのバランスが難しい。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	新型コロナウイルス感染用対策のため、参加定員数の見直し(減)をすることで、安全安心な開催に努めた。	
令和4年度以降の方向性	将来を担う児童がふるさと湯河原の自然環境を知り、また親子のふれあいにより家庭教育の機会となる事業であることから、各講座の内容等を検討し、定員数も含め見直しを図る。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	会場や定員数を考慮したうえで、事業の企画を検討する。
------	----------	----------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	6093	担当課等	社会教育課								
事務事業名	成人のつどい開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P126 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校の連携	(2) 青少年育成体験活動の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	青年に大人としての自覚を持つよう促し、ふるさと湯河原へ集ってもらうことで郷土への関心を高める。								
対象	その年度内に新成人となる町民、または以前に湯河原に居住していたことのある新成人								
内容	対象者から実行委員を募集し、自主的に式典や記念の集いなどの企画や運営を行ってもらう。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	650,092	616,750	999,000	
コスト 人件費	常勤職員	618,620	579,560		
	会計年度任用職員等	106,655	106,655		
	人件費合計	725,275	686,215		
	総事業費	1,375,367	1,313,065		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	1,375,367	1,685,215		
	財源合計	1,375,367	1,313,065		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
成人のつどい開催回数	年1回の開催	回	1	1	1
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
出席率	登録者に対する出席率	%	66	61	75

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 新成人による実行委員会の立ち上げ及び運営に必要な財源の確保は実行委員会だけでは困難である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 生涯で一度の行事として当事業を行うことで、大人としての自覚を持つきっかけとなっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 多くの新成人が参加し、多くの方に大人になることを自覚してもらう機会を与えることができている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 住民登録のある新成人全員に案内するほか、申し出のあった登録外の新成人も参加可能。また、欠席者のうち希望者には記念品を贈呈している。

令和2年度までの自己評価または改善点	新成人へ記念品(冠婚葬祭のマナー本)を贈呈している。 新型コロナウイルス感染症対策を施すことで開催した。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	実行委員による自主的な企画・運営に意味があることなので、委託は不可能
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	実行委員会募集を早期に周知、組織する。3密の回避、体温チェック、時短など新型コロナウイルス感染症対策を徹底して開催する。	
令和4年度以降の方向性	令和4年度から成人年齢が18歳に引き下げられるが、湯河原町では現行通り20歳での式典を行い、「二十歳のつどい」として開催する。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	二十歳のつどいと名称を変えて開催
------	----------	------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	6115	担当課等	社会教育課								
事務事業名	親善都市子ども交流推進事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P133 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	Ⅲ 多文化共生社会の推進	3 地域間交流	(1) 地域間交流の推進	(2) 親善都市及び姉妹都市との交流の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	町内の子どもたちが姉妹都市や親善都市の子どもたちと交流をすることにより、親睦を深め、グローバルな視野や考え方の醸成を図る。								
対象	親善都市(三原市):小学5・6年生 姉妹都市(オーストラリア、ポートステイブンス市):中学2年生								
内容	三原市とは隔年で相互訪問、ポートステイブンス市とは毎年6名の中学生と引率教諭により訪問、ホームステイし、市役所などへ表敬訪問、現地の学校への通学も行う。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	3,097,195	0	257,000	
コスト 人件費	常勤職員	927,930	117,932	434,630	
	会計年度任用職員等	38,091	7,409	38,091	
	人件費合計	966,021	125,341	472,721	
	総事業費	4,063,216	125,341	729,721	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	1,285,000		128,000	
	地方債				
	その他特定財源	474,000			
	一般財源	2,304,216	125,341	601,721	
財源合計	4,063,216	125,341	729,721		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
交流日数	交流機会を作る	日	13	3	3
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
参加人数		人	36	14	26

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町内の小・中学生が対象となり、親善都市と交流するため、町内の各学校や、親善都市の学校・行政との調整が必要となり、町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 親善都市の方と交流を深めることができ、また、親善都市のことを深く知ることができている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 親善都市の児童・生徒がお互いの町を往来することで、児童同士の交流を深め、お互いを深く知ることができている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 選考は、抽選や選考試験など公平を保った方法で実施している。また、町内在住の対象年齢の方も募集している。

令和2年度までの自己評価または改善点	ポート市派遣者の選考にあたり面接に重きをおくことで語学能力より意欲、積極性や人柄を見据えた決定ができるよう配慮した。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 親善都市委員会又は行政を通しての交流であるので、委託は困難。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	オーストラリアへの渡航ができないことから、ポートスティーブンス市との中学生派遣は中止。 三原市との児童交流はオンラインによる交流を全3回で計画したが、緊急事態宣言の発令を受けて、最終回(3回目)は見送ることとなりました。
令和4年度以降の方向性	新型コロナの感染状況を見定めながら、三原市とは通常の訪問型の交流が図れればと考える。ただし、改善が見込まれないときは、オンラインによる交流を検討していきたい。ポートスティーブンス市との交流については、同様に、今後の状況を見定めながら、関係機関と協議しつつ、今後の交流の在り方などを検討する。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	12452	担当課等	社会教育課								
事務事業名	青少年健全育成活動推進事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P126 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校の連携	① 青少年健全育成関係団体の支援				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	地域において大人と子どものふれあいを図り、青少年の健全育成につなげる。								
対象	各地区「明るい青少年を育てる会」(5地区)、「母親クラブ」(2地区) 町内在住・在学中、ジュニアリーダー、シニアリーダー 湯河原町子ども会育成団体連絡協議会、湯河原町青少年指導員会								
内容	地域活動を推進・支援するため、5地区の「明るい青少年を育てる会」及び2地区の「母親クラブ」の団体運営に対して助成を行う。また、地域の各団体における各種体験活動を推進・支援するための事業を、関係団体に委託して実施するもの								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	240,000	186,000	760,000	
コスト 人件費	常勤職員	30,931	29,483	28,978	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	30,931	29,483	28,978	
	総事業費	270,931	215,483	788,978	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	120,000	120,000	198,000	
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	150,931	95,483	590,978	
財源合計	270,931	215,483	788,978		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
助成交付団体数	関連団体全てを支援	件	7	7	7
支援行事数	幅広い事業を支援する	回	2	0	3
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
助成交付団体数	申請団体全てに交付	件	7	6	7
参加者数	体験活動の直接効果	人	290	0	200

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 ゆがわら2011プランの主要施策として明文化している事業であるため、町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 各団体の総事業費に対する町の助成額は5万円未満であり、町側にかかる費用は少ないが、各団体ごとに積極的に活動している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 各団体が、各地域の特色を生かした様々な青少年健全育成事業の実施に活用されている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 各団体に対し均等助成をしている。 広報紙等で広く町民に向けて募集をしている。

令和2年度までの自己評価または改善点	関連事業を統合することで、より地域間の連携を図ることができた。
--------------------	---------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 補助金の交付や町内関係団体に事業を実施いただいていることから、委託はなじまない。
令和3年度の見直し及び改善 (実績または予定)	青少年育成事業に寄与いただける人を広く募りたいが、その起点となるイベントがコロナの影響を受けて実施を見合わせている状況にある。感染症対策を施し、実施可能な事業を関係機関と検討していきたい。
令和4年度以降の方向性	コロナ感染状況や各団体・地域の実情を踏まえ、要望等を把握することで、推進を図る。

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	6149	担当課等	社会教育課								
事務事業名	放課後児童健全育成事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P126 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校の連携	(4) 学童保育・放課後子ども教室の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	放課後及び学校休業中に保護者等の適切な保護を受けることができない小学生の安全な居場所を確保する。								
対象	町内の小学生								
内容	町内3小学校に在籍する児童を対象に、3小学校内において学童保育を実施。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	55,295,557	58,119,474	65,409,660	
コスト 人件費	常勤職員	3,712,000	3,506,000		
	会計年度任用職員等	22,986,000			
	人件費合計	26,698,000	3,506,000		
	総事業費	81,993,557	68,915,660		
財源内訳	国庫支出金	10,718,000	12,556,000		
	県支出金	10,718,000	12,556,000		
	地方債				
	その他特定財源	21,006,000			
	一般財源	39,551,557	43,803,660		
	財源合計	81,993,557	68,915,660		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
学童保育所運営日数	1年間の開所日数	日	289	292	290
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
希望者入所率	入所者数/入所申請者数×100	%	100	100	100

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 児童福祉法で、町は、放課後児童健全育成事業の実施に努めなければならないと規定されているため、町が外部に委託している。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 他事業で類似するものがない。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 入所希望している児童が待機せず、すべて入所でき、適切な保護を受けられている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 申請にあたり条件はなく、申請後は運営委員会による審査会において選考している。

令和2年度までの自己評価または改善点	令和元年10月から、民間事業者への委託を開始した。
--------------------	---------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和4年度が運営委託の切り替えの年度となるため、この2年間におよぶ委託事業を振り返り、課題や問題点を理解したうえで、児童・保護者・支援員・学校等関係機関と密に連携し、安心できる居場所の提供ができるよう情報交換を行う。	
令和4年度以降の方向性	新たな3年間の委託契約に向けて、プロポーザルを実施することで、町の仕様に沿った安定した業者を選定することで、健全かつ安全な施設の運営を図る。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	6189	担当課等	社会教育課								
事務事業名	放課後子ども教室推進事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P126 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	6 青少年健全育成	(1) 家庭・地域・学校の連携	(4) 学童保育・放課後子ども教室の充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	小学校の余裕教室を利用して、地域の大人の協力を得て子どもたちの活動拠点(居場所)を確保し、様々な体験活動や地域住民との交流等を支援する。								
対象	町内の小学生								
内容	活動推進員やサポーターを配置した上で、湯河原小学校で児童の自主的な学びの場として「まなび教室」を、東台福浦小学校で放課後の安全な居場所として「そよかぜ教室」を行い、平成30年10月から吉浜小学校で「JUMP」を開催した。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	3,937,248	2,863,630	7,935,000	
コスト 人件費	常勤職員				
	会計年度任用職員等	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
	人件費合計	1,200,000	1,200,000	1,200,000	
総事業費	5,137,248	4,063,630	9,135,000		
財源 内訳	国庫支出金				
	県支出金	1,916,000	1,668,000	2,399,000	
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	3,221,248	2,395,630	6,736,000	
財源合計	5,137,248	4,063,630	9,135,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
実施箇所数	教室の数	箇所	3	3	3
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
登録児童数	3教室の登録数	人	150	128	150

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 子どもたちと地域住民とをつなぐパイプ役として町が実施する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 学校とは違った体験や交流活動を行うことができている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 それぞれの教室で参加している子どもたちに、体験活動や交流、居場所作りの機会を与えることができおり、その中で子どもたちが成長している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 3小学校ともに設置されていることおり、学びの機会を提供することができる。
令和2年度までの自己評価または改善点	各教室について、それぞれのカリキュラムに応じたコーディネーター、サポーターの協力により円滑な運営ができています。また湯小ではプログラミング学習、吉小では英語に親しむ学習、東台小では昔遊びの習得など、特色を生かしたカリキュラムにより実施されている。新型コロナの影響で緊急事態宣言中は閉所となりました。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	地域の人材を活用した子どもへの学習機会の提供の場であり、委託が馴染む事業ではないと考える。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	新型コロナの影響により、休所とする期間があったが、限られた時間の中で事業を行うことができた。緊急事態宣言後は、新型コロナの安全対策を施すことで開所することができた。	
令和4年度以降の方向性	学童保育との連携に向けた情報交換等を含めた検討が必要と考えます。。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	6525	担当課等	社会教育課							
事務事業名	湯河原町体育協会補助金									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	01	事業開始年度	昭和 30 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P124 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支援	① スポーツ活動の支援				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	協会を組織する各部は活発な活動を行っており、スポーツ少年団の育成も町のスポーツ振興に大きく貢献している。また、町スポーツ行事では、企画・立案・運営と中心的な役割を担っており、それらの実績を踏まえ補助を行い、結果、各行事を通して町民の体力向上、健康増進を図る。								
対象	湯河原町体育協会								
内容	各部の人数、活動実績に応じて補助を行う。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	2,000,000	1,264,538	1,900,000	
コスト 人件費	常勤職員	123,724	117,932		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	123,724	117,932		
	総事業費	2,123,724	1,382,470		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	2,123,724	1,382,470		
財源合計	2,123,724	1,382,470			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
開催大会数		回	250	3	5
開催教室数			1	1	1
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
参加者数	体力・技術の向上、健康増進	人	771	507	250

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町民の体力向上と健康増進を図るなど、スポーツに親しむことが重要。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 スポーツ行事への企画・運営に参加している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 町民レクリエーションの集い、湯河原温泉オレンジマラソンなど職員だけでは対応できない行事に協力をいただいている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 各競技部の人数、活動に応じ配分している。
令和2年度までの自己評価または改善点	活動する部数や部員の人数に合わせ、補助額を按分しているが、部員数の減少や部員の固定化・高齢化及び休部も進んでいる。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	団体の運営補助金という性格上、委託や指定管理には馴染まない。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため活動できなかった期間があったことから、協会から未実施事業に係る補助金の戻入がありました。引き続き、活動実態に沿った補助を行います。	
令和4年度以降の方向性	各部の活動や構成員の状況を確認しつつ、その状況に見合った形で事業補助を進める。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	6529	担当課等	社会教育課							
事務事業名	スポーツ振興助成事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	01	事業開始年度	平成 4 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P124 ゆがわら2021プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支援	① スポーツ活動の支援				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	スポーツの優秀選手及び団体の活動を助成し、町民のスポーツの振興を図る。								
対象	町民								
内容	町の社会体育の振興を図るため、県予選を経て関東及び全国大会やそれに準ずる大会等に出場した選手に対し、大会参加に要す経費の一部を助成する。 また、経費のかからない選手については、出場祝金として支給する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	40,000	5,000	60,000	
コスト 人件費	常勤職員	83,813	11,412	11,218	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	83,813	11,412	11,218	
	総事業費	123,813	16,412	71,218	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	123,813	16,412	71,218	
	財源合計	123,813	16,412	71,218	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
交付件数	交付実績	件	7	1	10
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
出場大会数	町のスポーツの振興	大会数	7	1	10

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 各種大会への参加にあたっては、競技種目、大会開催地等によって必要となる経費が異なるが、その一部を助成することにより、負担の軽減が図られる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 助成金の交付は活動費用の負担の軽減となり、また、選手の励みにもなる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 出場選手(または団体)の活動費用の負担の軽減に寄与している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 交付基準を満たしているか審査を行い交付決定している。
令和2年度までの自己評価または改善点	平成21年度に1大会あたりの個人への助成金額を10,000円から5,000円に減額。 平成22年度に1大会あたりの団体への助成金額を30,000円から10,000円に減額。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	審査にあたり、個人情報を含むため。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和4年度以降の方向性	経常的な事業のため、保健体育総務費(経常費)に組み替える。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	事業費を廃止
------	----------	--------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	6558	担当課等	社会教育課								
事務事業名	各種大会開催事業										
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P124 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたり学びの推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支援	(3) スポーツ教室、イベントの開催				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	子どもから高齢者まで楽しめるスポーツ大会等を開催し、町民の健康増進、体力の向上、参加者相互のコミュニティ形成等を図る。								
対象	町民								
内容	町が主催する各種スポーツ大会等を各種団体に委託して開催するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	290,922	45,737	503,000	
コスト 人件費	常勤職員	1,237,240	90,351	213,129	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	1,237,240	90,351	213,129	
	総事業費	1,528,162	136,088	716,129	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源	51,600			
	一般財源	1,476,562	136,088	716,129	
財源合計	1,528,162	136,088	716,129		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
開催大会・教室数	開催実績	回	1	2	5
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
競技参加者数	大会・教室開催の効果	人	10	103	250

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	3 運営を体育協会等に委託しているが、運営団体自らが企画・運営できると判断した事業については、独自開催へ移行する。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 町費の負担は少額であるが、参加者の満足度は高いと感じられる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 毎年同時期に開催される各大会での成績を目標とするだけでなく、参加することを楽しみとしている町民が多くおり、スポーツ振興以外の効果もあると思われる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 主に町民を対象とした大会等であり、参加が容易である。

令和2年度までの自己評価または改善点	平成27年度に、大会の種目をソフトバレーボールから、スポーツ推進委員会が普及促進しているファミリーバドミントンに変更した。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	体育協会、スポーツ推進委員に委託済み。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	新型コロナの影響を受けて、各種大会も見送ることとなりました。関係団体とは、感染症対策が図れる種目は開催する方向で協議している。	
令和4年度以降の方向性	大会の参加者数、チーム数の規模や運営方法などを検討するとともに、その必要性についても検証することで、町民のニーズに合わせたレクリエーション等の開催についても検討する。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	13079	担当課等	社会教育課							
事務事業名	新型コロナウイルス感染症対策事業(保健体育費)									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	02	事業開始年度	令和 3 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P124 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	5 スポーツ	(1) スポーツ活動の充実	① スポーツ施設の利用促進・運営充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	2階・3階のトイレを手指の接触及び飛沫感染対策のため、和式トイレから洋式トイレに改修するもの。								
対象	ヘルシープラザ利用者								
内容	2階男子1基、女子2基、3階男子1基、女子2基を和式から洋式へ改修するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)	
コスト	事業費			4,400,000	
	人件費			202,846	
	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計			202,846	
	総事業費			4,602,846	
財源内訳	国庫支出金			4,400,000	
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0	202,846	
	財源合計	0	0	4,602,846	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町が所有する施設であり、和式から洋式へ入替えたことで、飛沫感染の予防に有効である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 トイレにおいて手指の接触の機会を減らすことで感染症予防に有効である。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 成果は得られると考える。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 利用者は料金を負担していることから受益の機会は均等であると考ええる。
令和2年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 施設工事であるため。
令和3年度の見直し及び改善 (実績または予定)	
令和4年度以降の方向性	

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	令和3年度完了
------	----	---------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	
------	----	--

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	13079	担当課等	社会教育課							
事務事業名	ヘルシープラザ改修事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	03	事業開始年度	令和 2 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P124 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	5 スポーツ	(1) スポーツ活動の充実	① スポーツ施設の利用促進・運営充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	屋上防火水槽点検室の管理用扉が風水塩害により錆びて開閉ができなくなったことから、鋼製からアルミスチール製に改修するもの。 屋上パイプスペースから雨水が侵入し、2階体育室天井に雨漏りが発生していることから、パイプスペースの漏水改修するもの。								
対象	ヘルシープラザ利用者								
内容	屋上防火水槽点検室の扉改修及び屋上パイプスペースの漏水防止改修								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費				
コスト 人件費	常勤職員				202,846
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0		202,846
	総事業費	0	0		1,225,846
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	0	0		1,225,846
	財源合計	0	0		1,225,846
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町が所有する施設である。
効率性	投入した費用に見合った効果が得られているか	5 費用対効果あり
類似性	他事業との類似はないか	
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 成果は得られると考える。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 受益の機会は均等であると考え。
令和2年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	工事請負業務である
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし	
令和4年度以降の方向性		

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	完了	令和3年度完了
------	----	---------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	完了	
------	----	--

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	12788	担当課等	社会教育課							
事務事業名	弓道場整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	02	事業開始年度	令和 3 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P124 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	5 スポーツ	(1) スポーツ活動の充実	① スポーツ施設の利用促進・運営充実				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	湯河原総合運動公園内に整備された弓道場の管理のためフェンスを設置するもの。								
対象	弓道場管理者、弓道場利用者、公園グラウンド利用者								
内容	弓道場の外周の一部に管理用のフェンスを設置するもの(2か所)								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)			
	事業費			800,000		
人件費	常勤職員			202,846		
	会計年度任用職員等					
人件費合計	0	0	202,846			
総事業費	0	0	1,002,846			
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	0	1,002,846		
財源合計	0	0	1,002,846			
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値	
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値	

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町の施設であるため管理運営をする必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 弓道場の管理者及び利用者にとって使いやすい施設となる。公園グラウンド利用者においても、安全が確保される。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 成果は得られると考える。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 管理者及び及び利用者だけでなく、公園グラウンドを利用者においても、安全が確保されることから、受益の機会は均等であると考ええる。
令和2年度までの自己評価または改善点		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	工事請負業務である
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)		
令和4年度以降の方向性		

5 一次評価(令和3年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	令和3年度工事完了
------	----------	-----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	6483	担当課等	社会教育課							
事務事業名	湯河原温泉オレンジマラソン開催事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	01	事業開始年度	平成 2 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支援	(3) スポーツ教室、イベントの開催				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	健康増進及び体力向上を図るほか、大会を通じて仲間との触れ合いを大切にし、観光客が減少する時期に開催し、町に再度訪れてもらう機会を提供することにより、観光客の増加にも資する。								
対象	小学1年以上の方								
内容	3km、5km、10km、大人と子どもで3kmを走るファミリー、ペアの年齢合計が100歳以上で走るペア3kmの各種目の選手が、同時スタートで走る。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	7,887,544	30,000	0	
コスト 人件費	常勤職員	2,474,480	235,864	579,560	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	2,474,480	235,864	579,560	
総事業費	10,362,024	265,864	579,560		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源	8,880,700	0	0	
	一般財源	1,481,324	265,864	579,560	
財源合計	10,362,024	265,864	579,560		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
申込者数	大会認知度及び普及目安	人・組	3,105	0	1,000
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
湯河原町宿泊者数 (H30まで宿泊パック)	観光客の誘客	人	118	0	10

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 関係機関をはじめ、協力各方面への依頼は行政でなければならない。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 毎回3,000人を超える応募があり、北海道など遠隔地からの参加者もいる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 参加者は、無料入浴による湯河原温泉の体験のほか、町内の観光や土産物を購入している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 参加賞のほか、上位入賞者へ賞品が用意されている。また希望者へ無料入浴券を配布しており、温泉風呂に入ることもできる。
令和2年度までの自己評価または改善点	平成20年度予算から町直営とした。 毎回、実行委員の属する各組織から問題点など意見を徴し、次回に対応することにより、大会の運営や参加者へのサービス向上につなげている。この2年度間は開催が見送られていることや新型コロナ対策をどのように展開していくか検討する。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	業務により委託しているが、大会全てを委託に出すことは、検討したことがないので、新型コロナ対策も踏まえて検討する必要がある。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために大会縮小案を作成した。会場、規模及び定員についてもしっかりと関係機関と調整する必要がある。特に主会場となる湯河原小学校の運用方法や更衣室のトイレの問題については課題となっている。	
令和4年度以降の方向性	新型コロナの感染状況を見定めながら、その規模も含め、関係機関と検討・検証を行う。特に安全対策にける管理運営については、協力団体との十分な調整が必要になると考える。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和3年度事務事業評価シート

令和 年 月 日作成

事業番号	6533	担当課等	社会教育課							
事務事業名	町民レクリエーションの集い開催事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	08	目	01	事業開始年度	平成 8 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021プラン 前期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	I 生涯にわたる学びの推進	5 スポーツ	(2) スポーツ活動の支援	(2) スポーツ・レクリエーションの場づくり				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	誰でも参加できる行事とし、住民の健康・体力の増進のほか、住民相互の親睦や異世代間の交流を行う。								
対象	町民								
内容	町内の各区(奥湯河原区は温泉場区と合同)や、会場にいられた方々がスポーツレクリエーションを体験し、体を動かすことの大切さや爽快感を感じ、各自の体力や健康の増進につなげる。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和元年度(決算)	令和2年度(決算)	令和3年度(見込)		
	事業費	1,031,381	14,173	0	
コスト 人件費	常勤職員	1,855,860	294,830	289,780	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	1,855,860	294,830	289,780	
総事業費	2,887,241	309,003	289,780		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	2,887,241	309,003	289,780	
財源合計	2,887,241	309,003	289,780		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
参加者数	参加延べ人数	人	2,000	0	0
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和元年度	令和2年度	目標値
競技参加者数	競技参加者の延べ人数	人	1,800	0	0

3 令和2年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 以前は町民運動会として開催していた事業内容を、競技性を抑え、誰もが参加しやすい行事としたため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 目標値や効率を追求するものではなく、町民多くの参加者に、よりスポーツに慣れ親しんでもらうもの。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 昼休みに行う介護体操(ズンドコ体操)など、体を動かすことへの関心を喚起している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 多くの方々に参加いただいている。
令和2年度までの自己評価または改善点	開催場所を湯河原総合運動公園から、より交通の便のよい湯河原町民グラウンドに変更した。その後の施設売却に伴い現湯河原中学校グラウンドで開催している。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	1	区会との調整を除き、委託は可能。
令和3年度の見直し及び改善(実績または予定)	新型コロナを受けて規模の縮小及び感染症対策を講じた企画を実行委員会に諮るがレクリエーションという観点からあらゆる制限のもと開催するものではないとの意見集約が図られた。安全安心に考慮しながらも、従来どおりの開催ができるタイミングを関係団体と調整しながら検討する必要がある。	
令和4年度以降の方向性	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を検討する。事業の規模や手法などをしっかりと検証し、密接、密集をどのように回避するかを検討・検証することで、レクリエーションの集いのあり方について併せて検討する。	

5 一次評価(令和4年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--